

前営業日のパーツ為替・金利動向

ドルパーツは31.30近辺で推移

・18日のドルパーツは31.305でオープン。米FOMC議事要旨の公表を控えてドルパーツは31.30近辺で方向感なく推移した。欧州時間には一時パーツ高値31.24を示現し、結局寄り付きとほぼ同水準の31.30でクローズした。

円パーツは20.50目前へ堅調に推移

・円パーツは20.42でオープンし、程なくしてパーツ安値20.45を付けた。ドル円は153円台後半へ堅調に推移し、かかる円安地合いで円パーツは20.30台へ下落方向だった。欧州時間には一時パーツ高値20.33を示現し、20.35でクローズした。

パーツ金利は総じて小動き

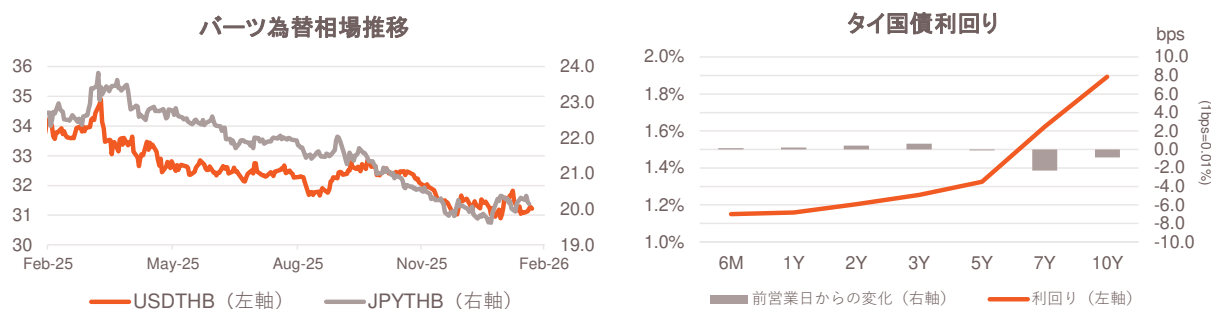
・タイ債券市場では売買が低調の中、パーツ金利は総じて小動きだった。

本日の相場見通し・予想レンジ

ドルパーツは31台前半での推移を予想

●昨日、米1月鉱工業生産指数や12月の住宅着工件数などの米主要経済指標がいずれも事前予想を上回り、米経済の堅調さがあらためて証明された。これにより、年内の大幅な利下げ期待が後退。また1月27日～28日分のFOMC議事要旨において、複数のメンバーが、インフレ率が目標を上回る状況が続く場合には、利上げが必要になる可能性があること示唆したことが判明した。これらのことから米金利が上昇しドルが買われた。一方、金価格が大幅に反発したことはタイパーツの支援材料となり、こうした「ドル高要因」と「パーツ買い要因」の拮抗により、本日のドルパーツは引き続き31台前半で推移しよう。

USD/THB	JPY/THB	USD/JPY	EUR/USD
31.20-31.35	20.20-20.60	153.70-155.70	1.1730-1.1830



バンコクそぞろ歩き

ボートヌードル

筆者：小泉

クイッティアオに続き、麺料理の話です。はい、私は麺料理が好きなんです。クイッティアオの話をしたとき、同僚が教えてくれたのがクイッティアオア。別名ボートヌードル。もともと運河で舟の上で売られていたことが名前の由来とか。麺料理が舟の上で？バランス悪くてこぼしそう...という現実的な心配はひとまず置いて。ボートヌードルもスープが選べますが、代表的なのは豚の血を混ぜて作られた茶色いスープ(ナムトゥク)だそうです。そして先日、同僚

にボートヌードルのお店に連れて行ってもらいました。メニューの写真から伝わるブラウンカラーの主張に身構える私。でも実際に食べてみると、もちろん辛いのですが甘みとコクがあります。食べる前までは少し不安でしたが、結果「アローイ」でした。この味は、恐らく家庭では出会えない味。また一つ、タイでしか出会えない味を知れました。お腹が元気な時に(ここ重要)、色々なお店をトライしてみたいと思ったタイ生活2年目の入り口でした。

前営業日の市況データ

為替

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USDTHB	31.305	31.320	31.240	31.300
JPYTHB	20.42	20.45	20.33	20.35

金利

	期間	終値	前営業日比
BIBOR	1M	1.3000%	+0.0000%
	3M	1.3898%	+0.0000%
	6M	1.4285%	-0.0000%

	期間	終値	前営業日比
THOR	O/N	1.2436%	-0.0017%
THOR Average	1M	1.2430%	+0.0001%
	3M	1.3242%	-0.0027%
	6M	1.4132%	-0.0024%

	期間	終値	前営業日比
タイ国債 利回り	6M	1.1509%	+0.0016%
	1Y	1.1575%	+0.0020%
	2Y	1.2033%	+0.0043%
	3Y	1.2543%	+0.0063%
	5Y	1.3257%	-0.0009%
	7Y	1.6228%	-0.0229%
	10Y	1.8922%	-0.0085%

	期間	終値	前営業日比
米国債 利回り	6M	3.6230%	+0.0050%
	1Y	3.4910%	+0.0150%
	2Y	3.4600%	+0.0230%
	3Y	3.4930%	+0.0240%
	5Y	3.6470%	+0.0260%
	7Y	3.8470%	+0.0270%
	10Y	4.0810%	+0.0270%

株式

	終値	前営業日比
DOW	49,662.66	+129.47
NASDAQ	22,753.63	+175.25
NIKKEI	57,143.84	+577.35
タイSET	1,466.67	+6.99

コモディティ相場

	終値	前営業日比
金先物	4,986.50	+103.60
WTI (第1限月)	65.19	+2.86

前日の経済指標

地域	経済指標	予想	結果
米	FOMC議事要旨		

本日発表の経済指標・イベント

地域	経済指標・イベント	予想	前回
米	2月14日新規失業保険申請件数 (万件)	22.5	22.7

その他報道等

日▼高市首相 = 「「責任ある積極財政」を巡り、債務残高の対国内総生産（GDP）比を安定的に引き下げることで市場の信託を維持する」「消費税率については、できるだけ早い時期に引き下げたい」

米▼FOMC議事要旨 = 「数名が、インフレ率が目標を上回る状況が続いた場合、利上げが必要になる可能性がある考えを表明した」

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊行の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊行は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変化することがありますので、予めご了承下さい。

本件に関するご照会は、Bank of Ayudhya Public Company Limited (A member of MUFG, a global financial group) 梶谷・小泉・ピチャポーン (02-632-2511)までお願い致します。